

第66回日本口腔衛生学会・総会
ミニシンポジウム5

災害時の

歯科保健医療体制をめぐって ～平成28年熊本地震等を受けて～

平成29年5月31日(水)

17:30-19:00

テルサ山形 3F 研修室A

企画趣旨

- 平成23年3月の**東日本大震災**においては、全国からの派遣も含めた災害時歯科支援が行われた。この経験から全国的に**標準化**された災害時歯科保健医療**体制づくり**がすすめられている。
- 平成28年4月の**熊本地震**においては、主に九州地区からの派遣が行われ、**統一されたアセスメント票の使用**など、多くの点において東日本大震災後の活動経験からの教訓が生かされたものの、**新たな課題**も多くみつかった。
- これらの課題の共有と検討から災害時歯科口腔保健対応の**改善案の提示**等を行い、今後の災害時の歯科保健医療体制づくりを探る。

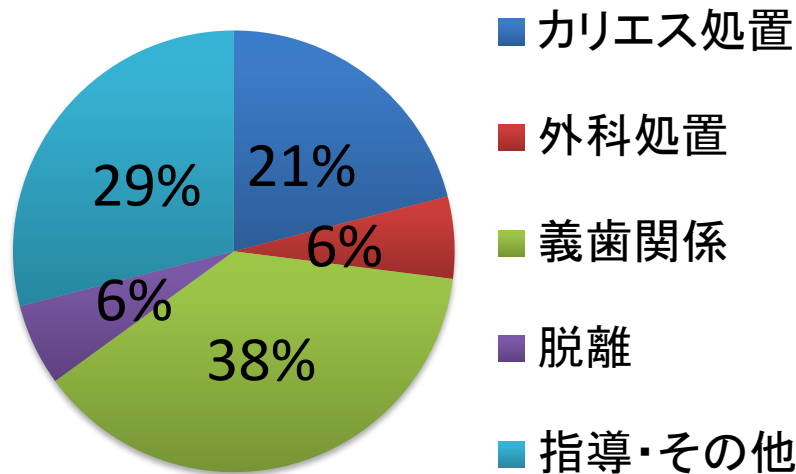
東日本大震災 歯科医療班の治療内容

岩手県

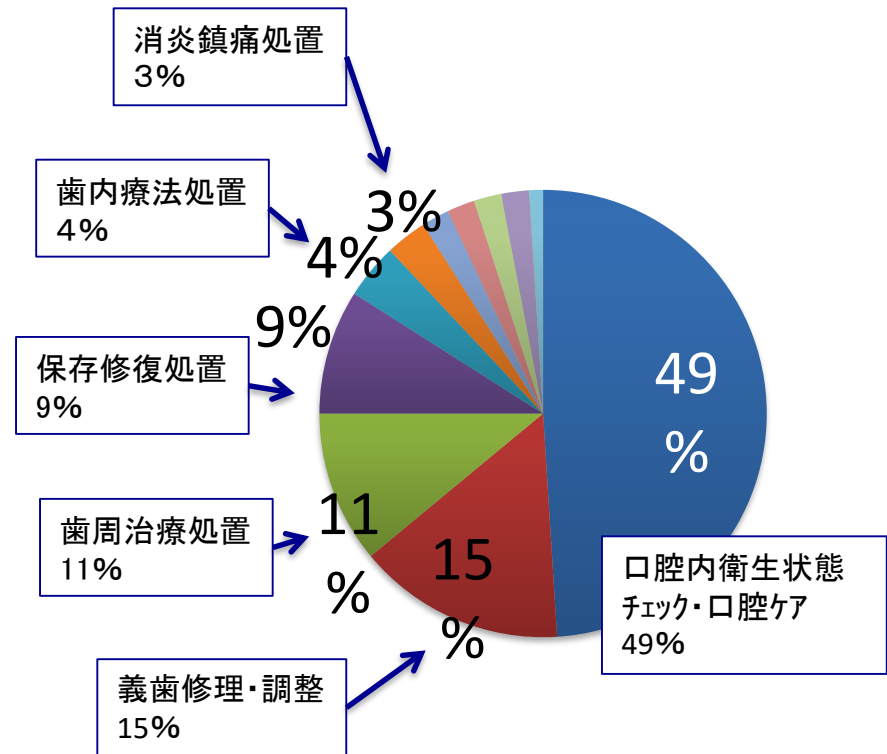
宮城県

2011年4月～5月治療内容
 (患者総数1457名、男性612名、女性845名)

処置内容別割合



2011年3月から9月

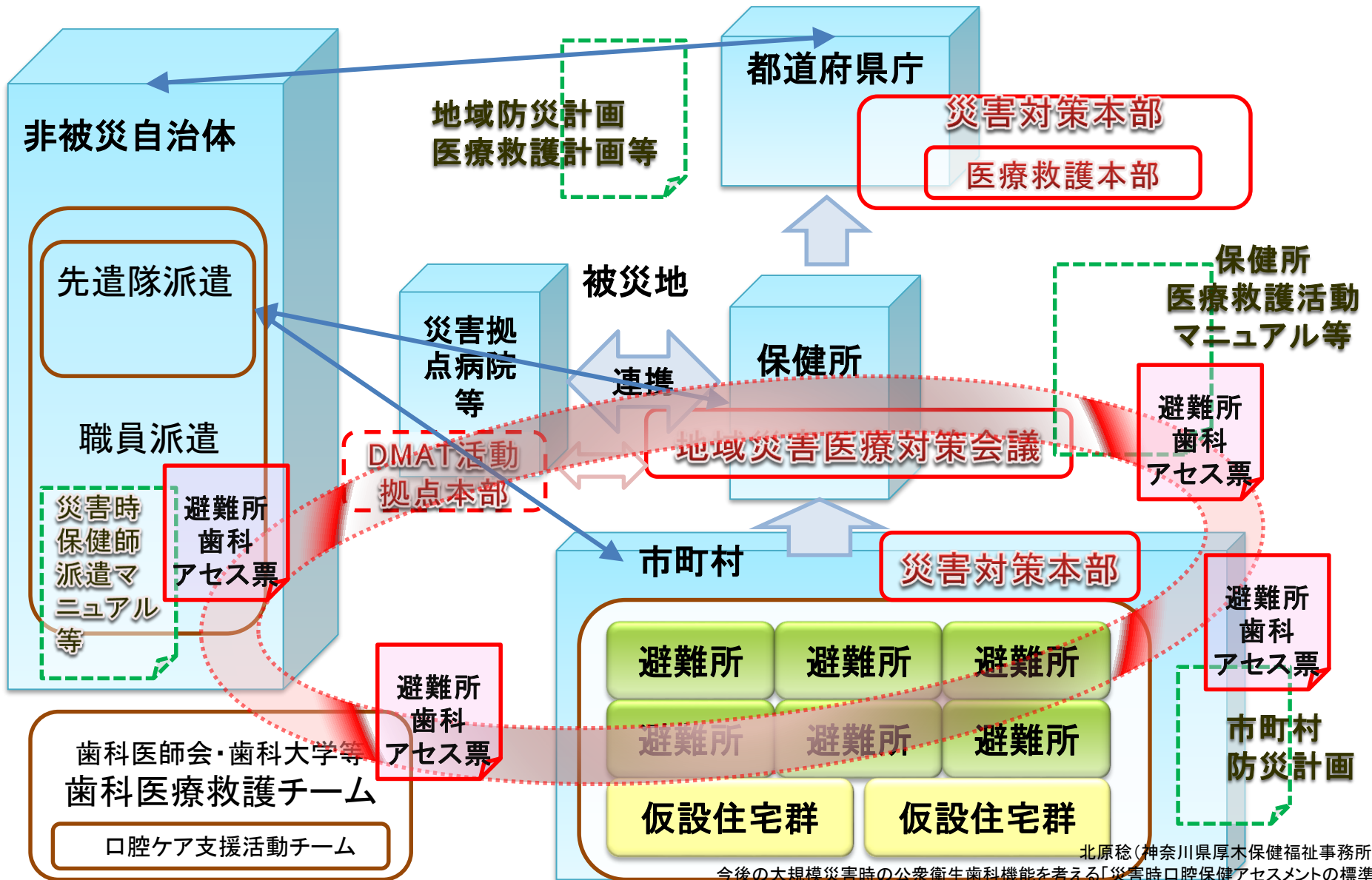


共通の記録様式の提案

- 全国で、かつ多職種で、共通した様式が必要。それを、平時から手に入り用意しておくことが必要。
- やっていかないのか？ やったが不明だったのか？などで迷うことないように、各項目ごとにチェックボックスをつくっておいて、全て埋めてもらうなど、後の集計整理を考えた様式が必要。

評価しにくい情報が、活かせる情報へ！

歯科界の共通様式の必要性と可能性



目的：継続的な共通アセスメントにより、必要な時に必要な所に必要とされている支援を届ける！

公衆衛生職
共通の眼

公衆衛生
歯科職の眼

臨床的な
歯科職の眼

レベル1ー全体

他職種主導

避難所等
アセスメント票

歯科ニーズ

痛み
不調

レベル2ー集団

自治体主導
(多職種、歯科職も)

歯科版
避難所等(マス)
アセスメント票

<関連環境>

- 人数構成
- 水・洗口場
- 歯科医療確保
- 口腔ケア用具

<歯科ニーズ>

- ・ 食物摂取問題
- ・ 義歯問題
- ・ 口腔衛生問題

レベル3ー個人

現場(歯科医師会・
歯科衛生士会)主導

歯科版
個別アセスメント票

- 全身状態
- 口腔内症状
- 食物摂取
- 歯口清掃
- 義歯
- その他

避難所

アセスメント票(例)

被災者の健康ニーズ
を概要を把握する
システム

細かい基準なし

**レベル1
(全体レベル)
フェーズ1**

様式 10

避難所アセスメントシート



調査日		調査者	
-----	--	-----	--

市町村名 [] 避難所の名称 []

避難所リーダーの氏名/連絡先 []

医療提供 診療所 あり()・なし 巡回診療 あり()・なし

項目	状態	概要
全体人数	約 人	受診人数 人 発熱(38度以上) 人・咳 人・嘔吐 人・ 下痢 人
水・水道	◎・○・△・×	
食事	◎・○・△・×	市町村への食料要望量 人分
電気	◎・○・△・×	
ガス	◎・○・△・×	
毛布	◎・○・△・×	
暖房	◎・○・△・×	
衛生状態/トイレ	◎・○・△・×	
既活動中の医療救護チーム等の名称		
小児科ニーズ	多・中・少・無	
精神科ニーズ	多・中・少・無	
産婦人科ニーズ	多・中・少・無	妊婦情報 (月 人)(月 人) (月 人)(月 人)
歯科ニーズ	多・中・少・無	痛みあり 痛み以外(入れ歯失した等)
その他		

歯科版避難所等 アセスメント票

「災害時公衆衛生歯科機能
について考える会」提案

避難所等歯科口腔保健
アセスメント票
(標準化レベル2)

**レベル2
(集団レベル)
フェーズ2以降継続**

No.

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 日本歯科医師会統一版

※事前把握項目		項目		特記事項
避難所等名 (施設名)	市町村名	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	
避難者数 人 (月 日現在)	避難所 責任者氏名			
評価年月日 西暦 20 年 月 日	連絡先 (電話等)			
評価時在所 避難者数 人 (AM/PM 時現在)	情報収集法 ※ 実施した方法をすべてチェック <input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名:) <input type="checkbox"/> 避難者からの聞き取り (人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通して把握 <input type="checkbox"/> その他 ()			
評価者氏名 職種 氏名: 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()				
(1) 特に口腔衛生 に配慮が必要 な対象者			a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明	
(2) 口腔清掃等 の環境	(◎・○・△・×・ー)		a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:)	
(3) 口腔清掃用具 等の確保	(◎・○・△・×・ー)		a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 () 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明	
(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)		a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 b 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明	
(5) 歯や口の 訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)		a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない *(具体的に:)	
(6) 歯科保健医療 の確保	(◎・○・△・×・ー)		a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり (定時), 1-②あり (不定期) 2 ない, 3 不明	
その他の問題	具体的に:			

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。標準化 Ver2.0
※ 簡易評価の定義: ◎良好・問題なし, ○まあまあ良好・まあまあ問題なし, △やや問題あり, ×大いに問題あり, -: 不明
(**県***県歯科医師会)

大規模災害時の 歯科医師会行動計画

改訂版

平成 25 年 6 月

**レベル3
(個人レベル)
フェーズ3以降継続**

公益社団法人 日本歯科医師会
災害時対策・警察歯科総合検討会議

災害支援活動
歯科衛生士実践マニュアル

公益社団法人日本歯科衛生士会

災害時避難所等 口腔保健アセスメント票

「災害時の歯科保健医療体制をめぐって ～平成28年熊本地震等を受けて～」
第66回口腔衛生学会ミニシンポジウム, 2017年5月31日

項目

基本情報 (* 事前把握)

(1) 対象者 *	避難者数 高リスク者数
(2) 環境	水・洗口場の 確保状況
(3) 用具	歯ブラシ・歯磨剤 の確保状況
(4) 行動	口腔衛生行動 介助の有無
(5) 症状	痛みや不自由さ の有無
(6) 歯科医療	歯科保健医療 の確保状況

その他

No.

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 日本歯科医師会統一版

※事前把握項目	避難所等名 (施設名)	市町村名																																
	避難者数 人 (月 日現在)	避難所 責任者氏名																																
	評価年月日 西暦 20 年 月 日	連絡先 (電話等)																																
※事前把握項目	評価時在所 避難者数 人 (AM/PM 時現在)	情報収集法 <input type="checkbox"/> 実施した方法をすべてチェック <input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名:) <input type="checkbox"/> 避難者からの聞き取り (人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ()																																
	評価者氏名 氏名: 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>簡易評価</th> <th>確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者</td> <td></td> <td> a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 口腔清掃等の環境</td> <td>(◎・○・△・×・ー)</td> <td> a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) </td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 口腔清掃用具等の確保</td> <td>(◎・○・△・×・ー)</td> <td> a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 () 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 口腔清掃状況</td> <td>(◎・○・△・×・ー)</td> <td> a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 b 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 歯や口の訴え・異常</td> <td>(◎・○・△・×・ー)</td> <td> a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない *(具体的に:) </td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) 歯科保健医療の確保</td> <td>(◎・○・△・×・ー)</td> <td> a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり (定期的), 1-②あり (不定期) 2 ない, 3 不明 </td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の問題</td> <td colspan="3">具体的に: _____</td> </tr> </tbody> </table>			項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項	(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明		(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:)		(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 () 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明		(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 b 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明		(5) 歯や口の訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない *(具体的に:)		(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・ー)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり (定期的), 1-②あり (不定期) 2 ない, 3 不明		その他の問題	具体的に: _____		
項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項																															
(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明																																
(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:)																																
(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 () 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明																																
(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 b 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしてない, 3 不明																																
(5) 歯や口の訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない *(具体的に:)																																
(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・ー)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり (定期的), 1-②あり (不定期) 2 ない, 3 不明																																
その他の問題	具体的に: _____																																	

※ 書ききれない情報や詳細情報は、特記事項欄に記入してください。標準化 Ver2.0
 ※ 簡易評価の定義: ◎良好・問題なし、○ほぼ良好・ほぼ問題なし、△や問題あり、×大いに問題あり、ー: 不明
 (**県***県歯科医師会)

各避難所のアセスメント票(レベル2)を 入力して簡単な加工で迅速に資料化

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
歯科版	避難所	アセスメント	結果	一覧	(目	日)	現在	～	発災	(日)	日)	
市町村名	避難者数	高齢者数	高齢者割合	要支援者数	歯磨き場所	うがい用の水	水の確保状況	歯1:十分 歯2:不足	磨き	コップ	義歯洗浄剤	口腔ケア用具		
山田町1	643	228	35	10	1	1	1	1	2	2	2	2		
山田町2	286		30	0	1	2	2	1	2	2	2			
山田町3	50		30	0	1	1	1	1	1	1				
山田町4	20		30	0	1	1	1	1	1	1				
山田町5	160		30		1	2	2	1	2	2	2			
宮古市1	123		50	0				1	1					
宮古市2	250		80	5	1	1		1	1	1			2	
宮古市3	80		50		1	1	1	2	2					1
宮古市4	73			50	1	1	1	1	1	1	1			

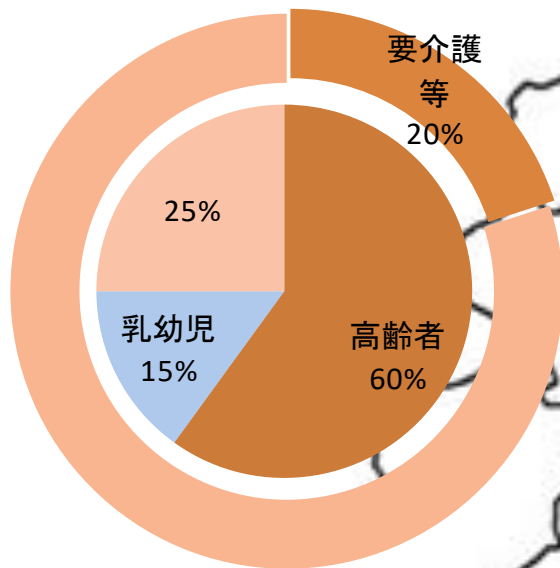
(北原による加工例)

応用 活用例

(北原による加工例)

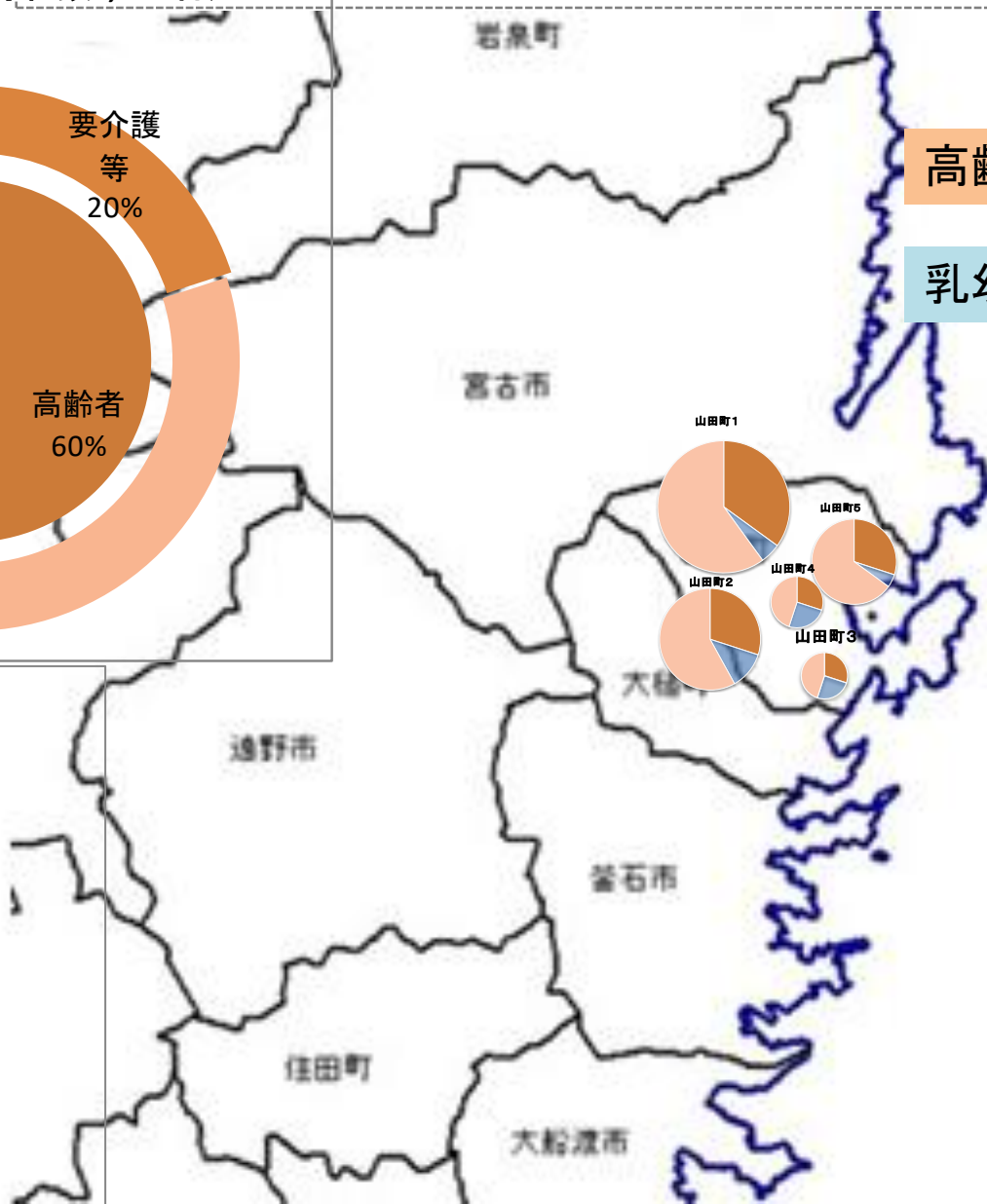
山田町 (避難者等総数1,159名)

「災害時の歯科保健医療体制をめぐって ~平成28年熊本地震等を受けて~」
第66回口腔衛生学会ミニシンポジウム, 2017年5月31日

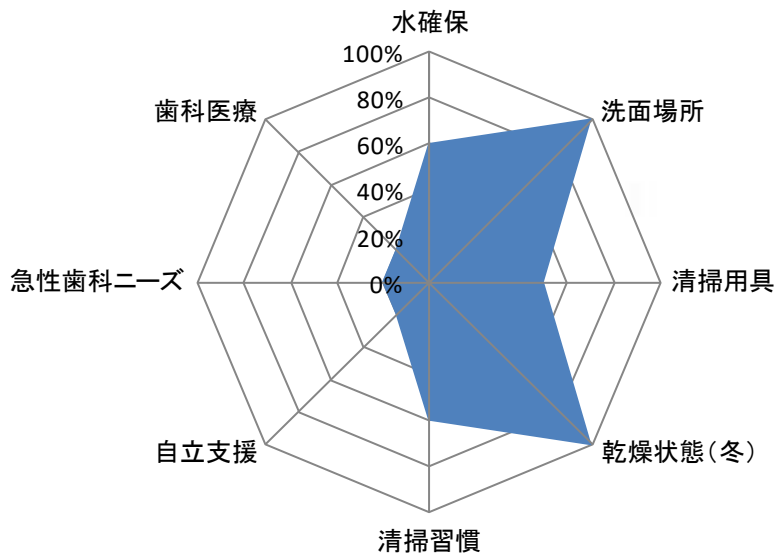


高齢者

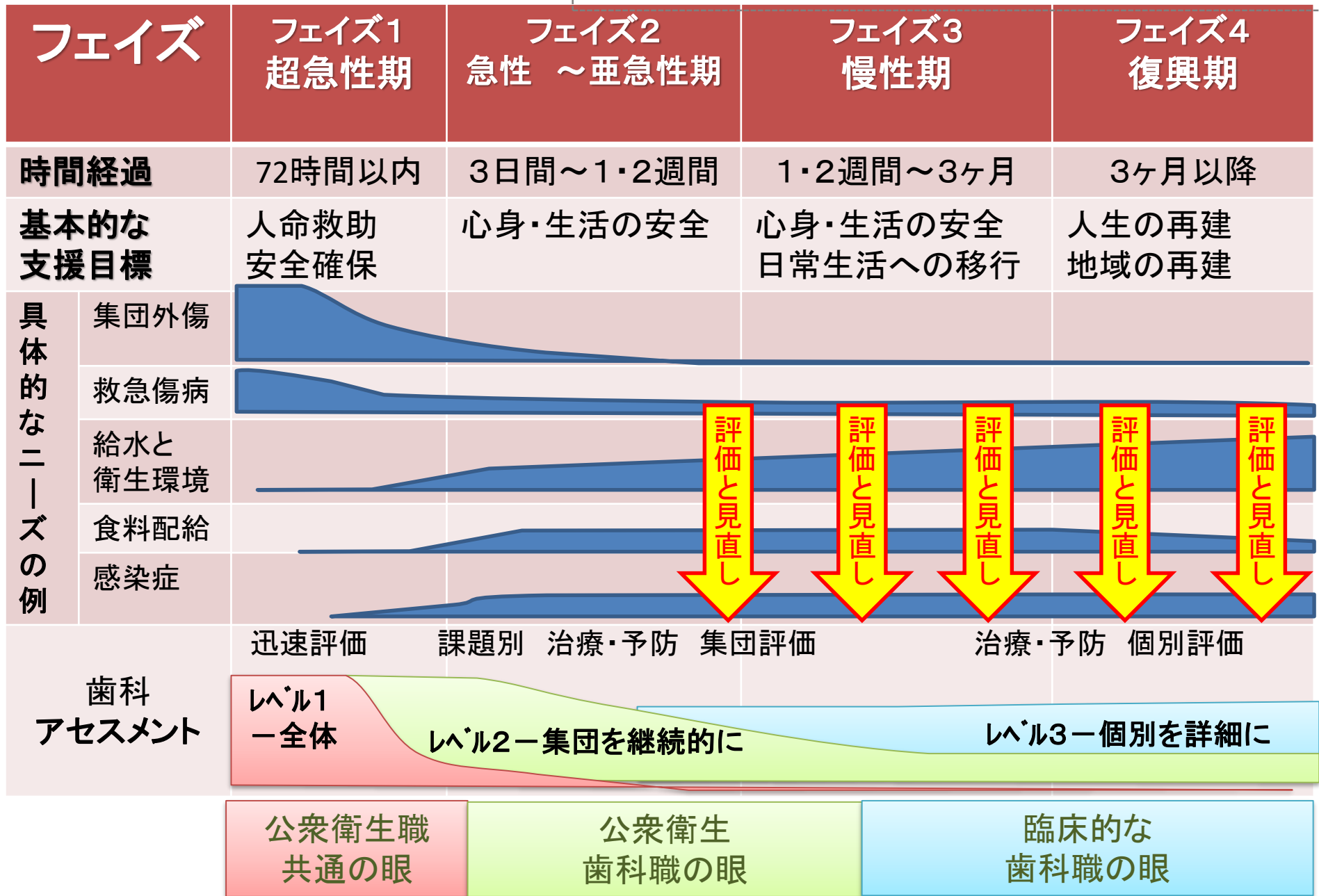
乳幼児



山田町 (5避難所等1,159名)



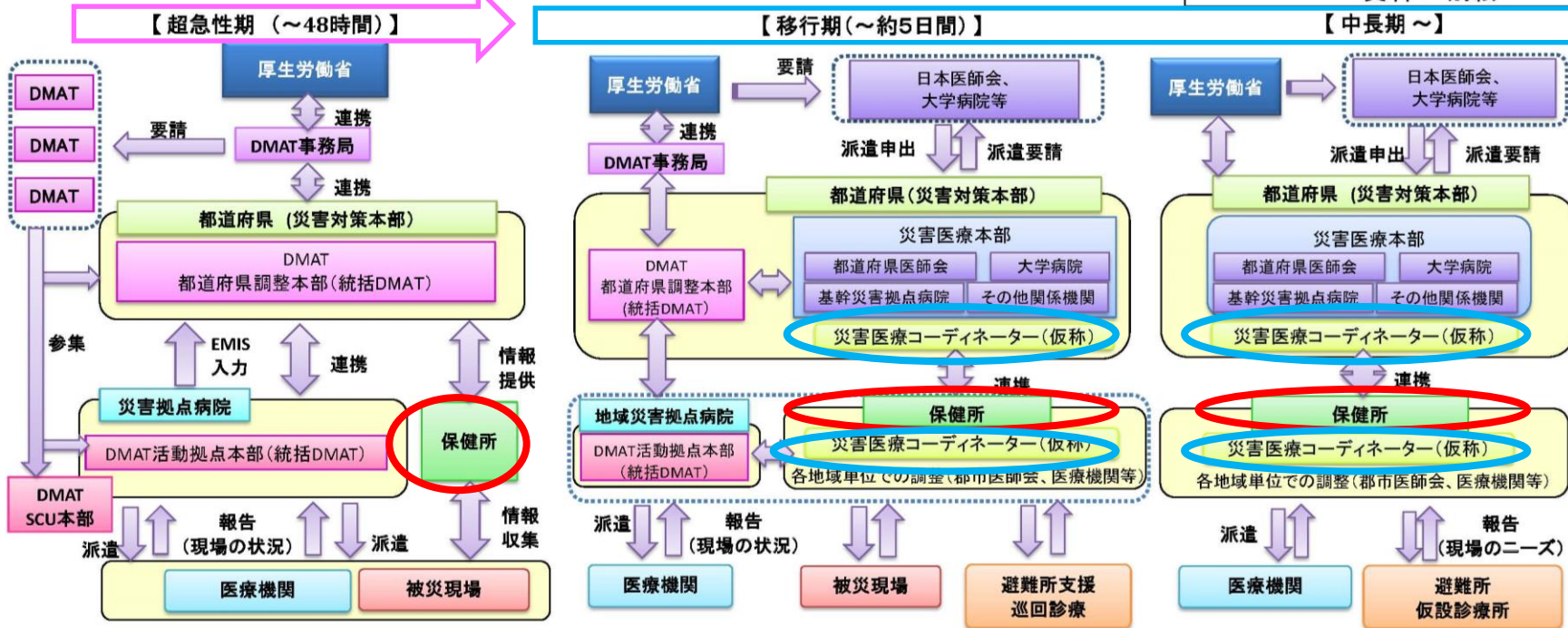
北原稔(神奈川県厚木保健福祉事務所),
今後の大規模災害時の公衆衛生歯科機能を考える「災害時口腔保健アセスメントの標準化
について」, 第31回地域歯科保健研究会(夏ゼミ)in盛岡, 平成25年7月27日



厚労省：急性期から中長期にわたる医療提供体制

急性期から中長期にわたる医療提供体制(今後のあり方)案

第2回災害医療等のあり方に関する検討会
 資料1 別紙



【医療班等の調整窓口】



【活動する医療チーム等】



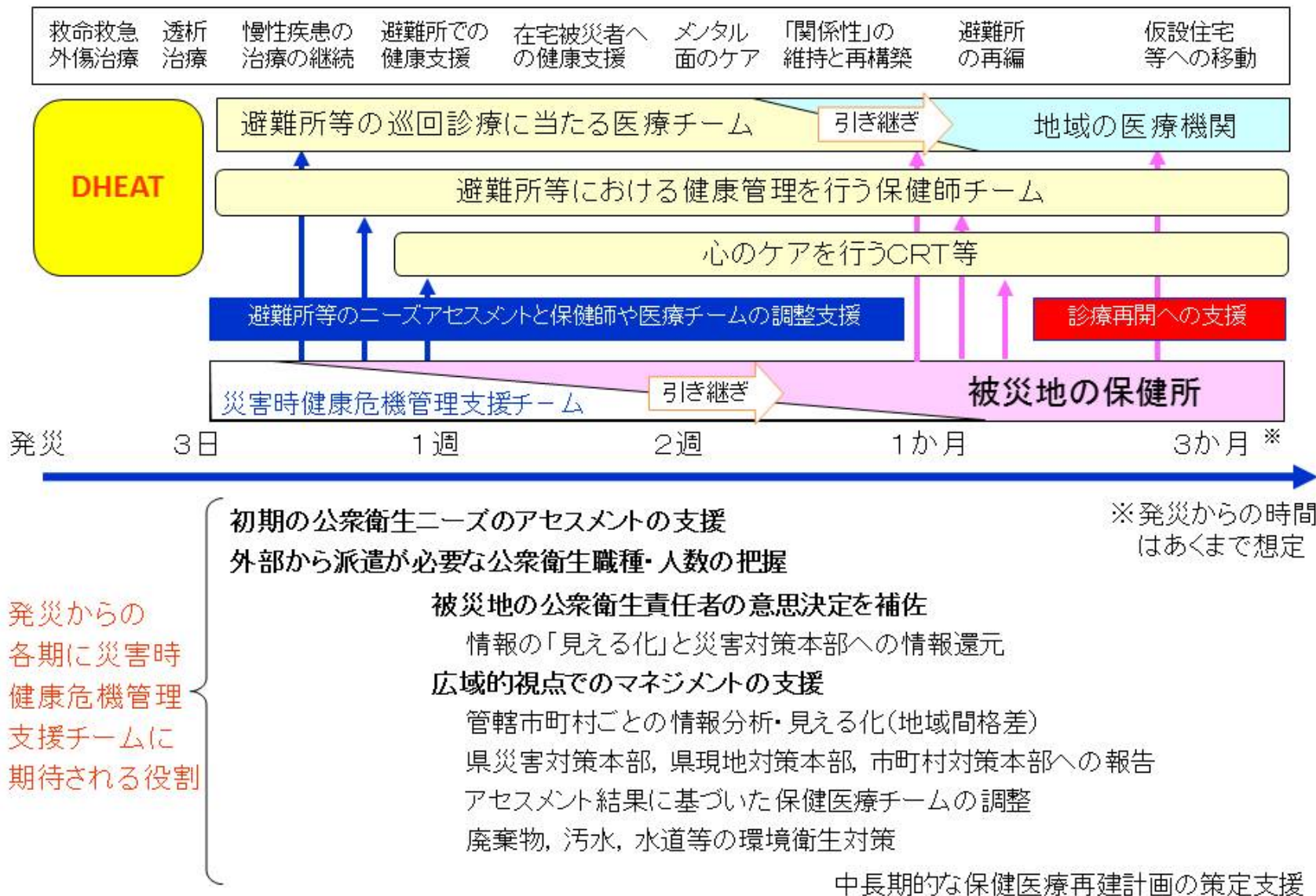
【情報収集】



【医療物資】



災害時健康危機管理支援チーム (DHEAT: Disaster Health Emergency Assistance Team)



発災からの
各期に災害時
健康危機管理
支援チームに
期待される役割

初期の公衆衛生ニーズのアセスメントの支援
 外部から派遣が必要な公衆衛生職種・人数の把握

被災地の公衆衛生責任者の意思決定を補佐
 情報の「見える化」と災害対策本部への情報還元
 広域的視点でのマネジメントの支援
 管轄市町村ごとの情報分析・見える化(地域間格差)
 県災害対策本部, 県現地対策本部, 市町村対策本部への報告
 アセスメント結果に基づいた保健医療チームの調整
 廃棄物, 汚水, 水道等の環境衛生対策

中長期的な保健医療再建計画の策定支援

*発災からの時間はあくまで想定

被災者健康支援連絡協議会

日本の主な保健、
医療、介護関係団
体の結集。
関係省庁の参加

代表
事務局長

日本
医師会

全国医学部長
病院長会議

事務局長

日本
赤十字社

日本
病院会

チーム医療
推進協議会
(医療関係者
の職能団体
で構成)

日本
栄養士会

日本歯科
医師会

全日本病
院協会

日本救急救
命士協会

日本
薬剤師会

日本医療
法人協会

大規模災害リ
ハビリテーショ
ン支援関連団
体協議会
(リハビリ・介護関
係団体で構成)

日本病院
薬剤師会

日本看護
協会

日本精神科
病院協会

日本臨床
心理士会

日本慢性期
医療協会

全国老人保
健施設協会

日本診療放
射線技師会

厚生
労働省

総務省

文部
科学省

復興庁

環境省

「歯科」が必要とされるためには

- 同じ言語、同じ質を担保する
- 教育研修体系の一元化が必要
- 認定もでき、派遣候補リストともなる

- 必要な患者さんに必要なケアを必要なタイミングで届ける
- 必要なのは組織としての統一性と継続性
- 不必要なのは個人の判断

歯科として、まとまろう！

日歯広報

1636号

2015年(平成27年)

1月15日

災害歯科保健医療連絡協を設置

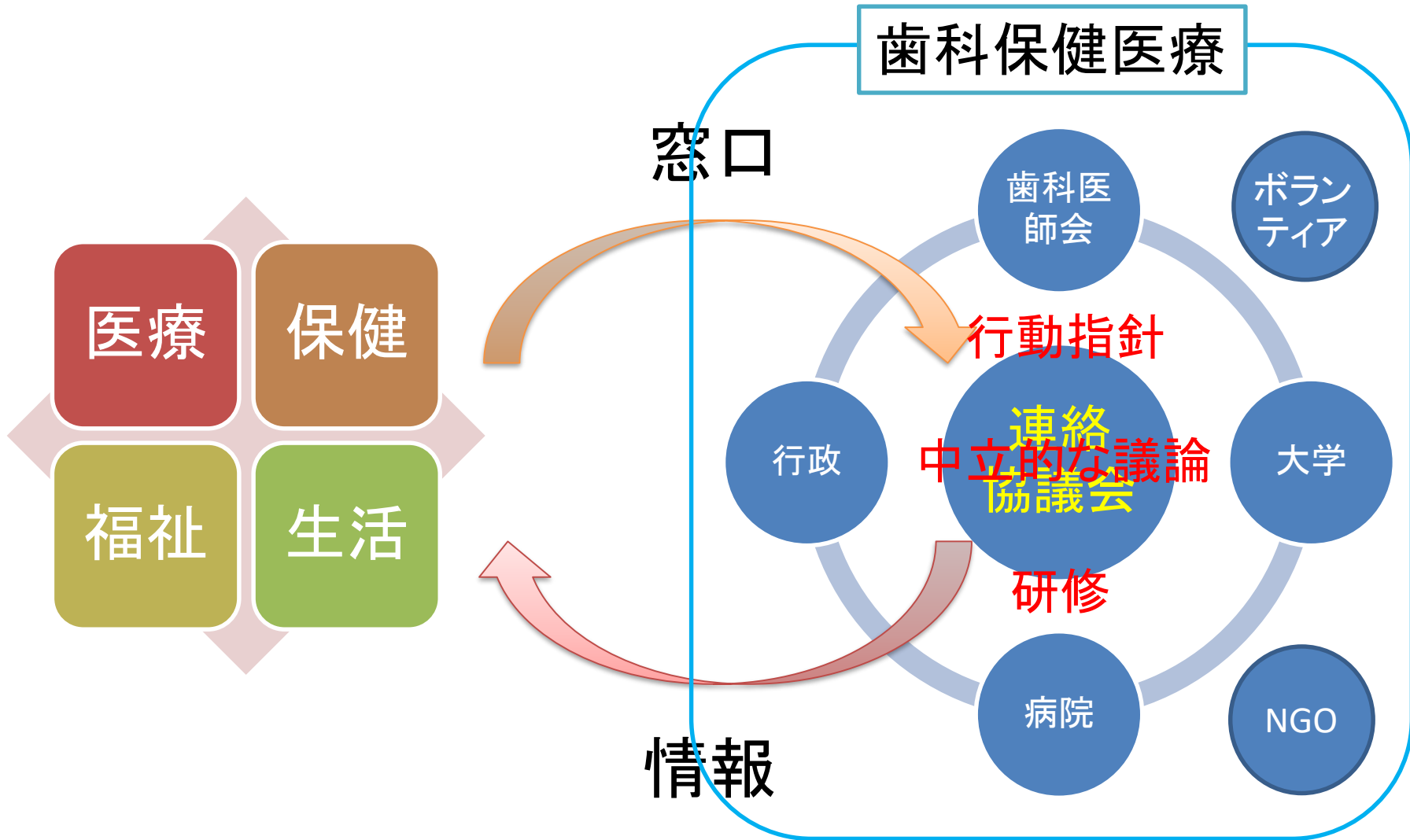
第23回理事会が12月18日(木)、歯科医師会館で開催され、日歯主導の下、歯科関連団体による災害歯科保健医療連絡協議会を設置することを決定した。本連絡協議会の目的は、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うこと。▽災害時における行政・他業種等の対外的な窓口▽災害時の各団体との連携、派遣調整(自衛隊歯科との連携)▽情報センター機能として資料整理などを協賛する。オブザーバーとして、日医(JMAT関係者)を始めとする多職種団体や学会、厚生省、自衛隊歯科等にも参加を求める予定。

第23回理事会



左から社会保険担当の児森正道理事、菊蔵郎常務理事、山口武之理事

災害歯科保健医療連絡協議会



災害時の連携体制の構築に向けて

<目的>

災害歯科保健医療連絡協議会 ※平成27年4月設置

大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、JMATと帯同する病院歯科医師から、中長期の仮設住宅・高齢者施設等への口腔ケアや歯科相談等の提供に至るまで、様々な歯科関係職種の継続的な支援が必要である。

そのため、日本歯科医師会主導の下、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うべく、協議していく。

<参画団体>

①日本歯科医師会 ②都道府県歯科医師会(全国7地区歯科医師会)③日本歯科医学会
④日本私立歯科大学協会 ⑤国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議 ⑥全国医学部附属病院
歯科口腔外科科長会議 ⑦日本病院歯科口腔外科協議会 ⑧日本歯科衛生士会 ⑨日本歯
科技工士会 ⑩全国行政歯科技術職連絡会 ⑪日本歯科商工協会

※オブザーバー:内閣府、厚生労働省、日本医師会(JMAT関係者)、防衛省ほか

<確認事項>

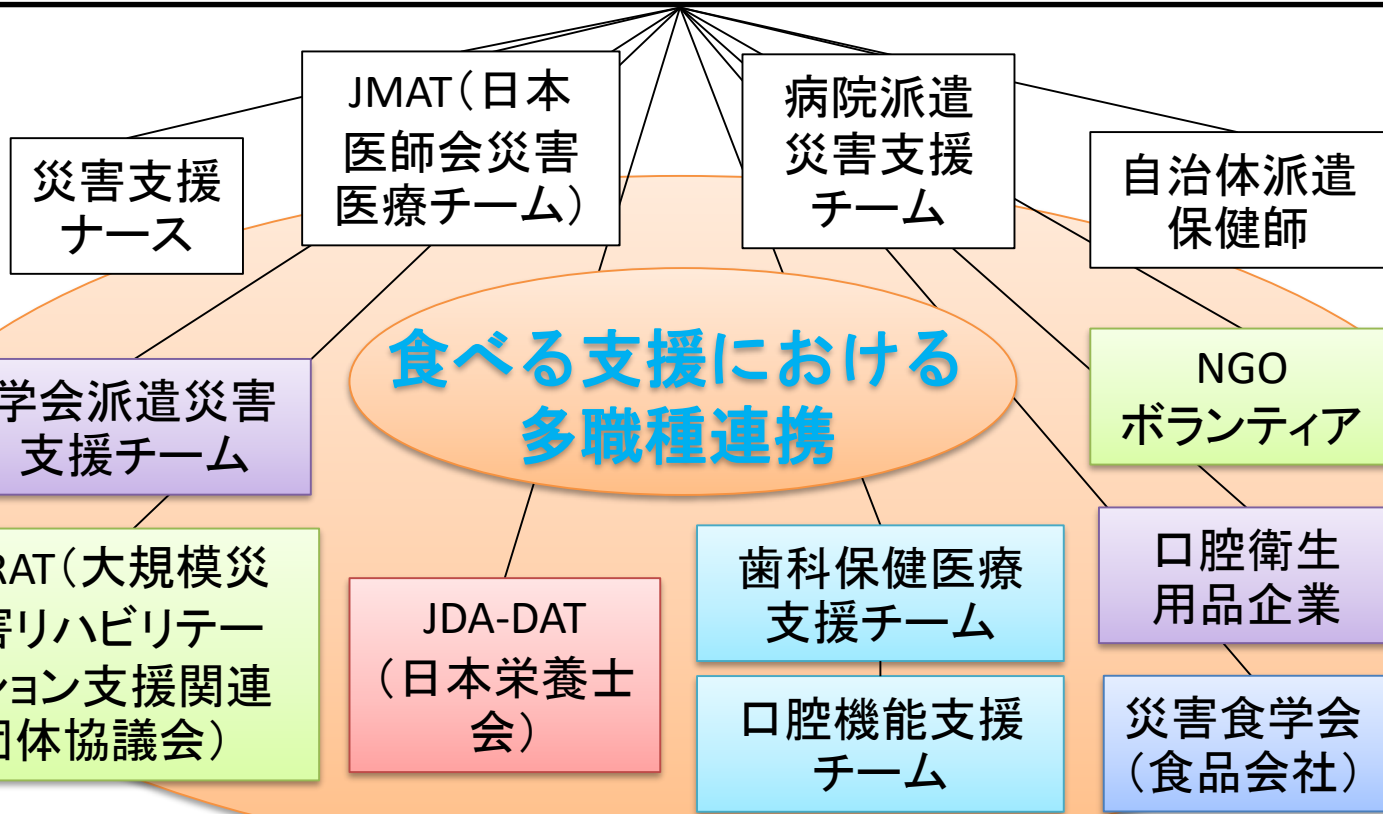
- 大規模災害時等に向けて歯科関係団体同士が有機的に連携し、災害対応に関する認識の共通化を図ることを各団体の共通認識として進めていく
- 平成28年度内に、災害歯科保健医療連絡協議会に参画している各団体の役割分担を記載し、

各参画団体が共有する災害歯科保健医療に係る行動指針を作成予定

災害時の連携

災害対策本部

災害医療コーディネーター
DMAT / 日赤 / 災害医療センター



話題

● 行政歯科職による災害時対応

楠田美佳(熊本県有明保健所)

● JMAT(日本医師会災害医療チーム)に参加する歯科のあり方

門井謙典(兵庫医科大学歯科口腔外科学講座)

● 避難所等歯科口腔保健標準アセスメント(レベル2)のその後と改訂

森谷俊樹(岩手県健康国保課)

● 平時からの受援体制構築の演習訓練と情報集約システム(J-Speed等)について

北原 稔 (神奈川県小田原保健福祉事務所足柄上センター)

● 歯科保健医療支援撤収にあたっての地元への引き継ぎ

中久木康一(東京医科歯科大学顎顔面外科分野)

● その他

(追加発言)井下英二(滋賀県衛生科学センター)、ほか